

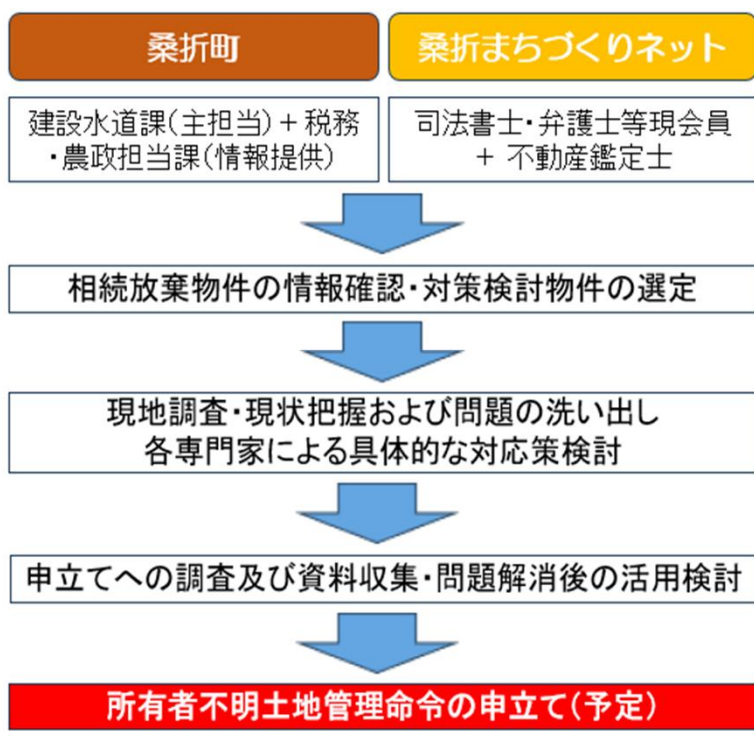
対象地域	対象地域の特性	地域が抱えている課題	主な取組内容
福島県 伊達郡 桑折町	県北地方の奥州街道と羽州街道の分岐点「桑折宿」として栄えた歴史を有する。国道4号線、東北中央自動車道「伊達桑折IC」、JR東北本線「桑折駅」があるなど、交通の便は良好である。	市街化調整区域で相続が発生した際に、田畑を含めた土地や建物を管理しきれず「相続放棄」されてしまった事例が複数ある。 相続放棄による所有者不明土地等の発生が今後数年でさらに増加していくことが予想され、手つかずになり荒れ果ててしまう前に対応を検討していく必要がある。	●「相続放棄による所有者不明土地等」の発生について、町の協力を得て現状を把握し、対応策を検討。可能であれば1件の問題解決に取り組み、スキームのモデル化を図る。 ●町商店街の空き地・空き店舗・空き家所有者への意向調査を実施し、利活用可能な物件を絞り込み。前向きな所有者へアプローチし、利活用内容を検討。 ●「所有者不明土地対策計画」の策定、協議会の設置、「推進法人」指定の具体化に向け、町及び関係団体との協議を継続。

事業内容・スキーム

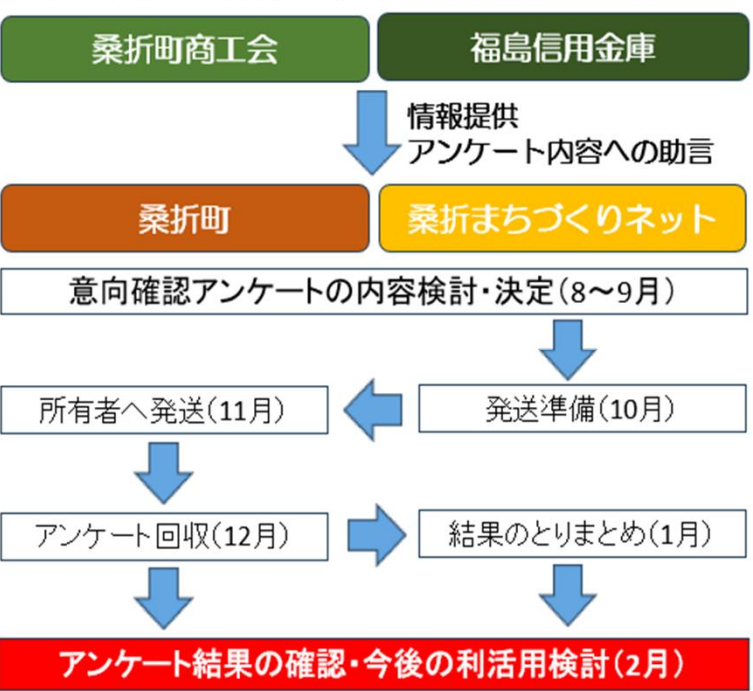
○昨年度事業の中で「相続放棄による所有者不明土地等」が複数あることを確認。放置すると確実に状況が悪化することから、1つの案件で問題解決への取り組みを実際に行い、そのスキームをモデル化していくための契機とする。

○また、昨年度事業で行った「商店街の空き地・空き店舗・空き家一体調査」の結果に基づき、それぞれの所有者へ意向確認のアンケートを実施。今後の利活用へ向けた足がかりとする。

■ 相続放棄による所有者不明土地等への対策検討



■ 中心市街地現状調査を基にした意向調査の実施



モデル事業による取組成果

一般社団法人への移行及び所有者不明土地利用円滑化等推進法人に指定

令和7年10月に一般社団法人へ移行、その後12月に所有者不明土地利用円滑化等推進法人に指定

所有者アンケートの実施

空き地・空き家所有者アンケート（回収率49.2%、61件中30件）を実施し、63.3%（30件中19件）から「何らかの形で活用しても良い」という回答を得た

相続放棄物件の利活用の検討

相続放棄物件の利活用として物件を選定（1件）、団体による所有・管理のもとで移住・就農者向け賃貸住宅（あるいは地域おこし協力隊の定住先）とすることを検討